

建設局

一般会計要求総額
55,966 百万円
(対前年度 3.2%)

< 要求の基本的考え方 >

- 歩いて暮らせる快適で美しい街の創造(バリアフリー化、地下歩行空間の整備等)
- 安全・安心に暮らせる快適な街の実現(災害対策、水とみどりの保全等)
- 北国らしいゆたかな暮らしの実現(地域実情に応じた除排雪)

市民の主体的な
地域づくりの支
援

— 主要事業 — 要求額(百万円)
地域と創る冬みち事業・・・・・・・・・・・・・・ 164〔管理部〕

障がい者の自立
支援の促進

誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業・・ 1,094〔土木部〕

水とみどりの保
全・育成と創出

創成川通親水緑地整備事業・・・・・・・・・・・・・・ 300〔土木部〕
多自然川づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・ 219〔下水道河川部〕

災害に強い安全
なまちの整備

災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)・・ 933〔土木部〕

将来を見据えた
魅力ある都市の
整備

札幌駅前通地下歩行空間整備事業・・・・・・・・・・・・ 2,734〔土木部〕
創成川通アンダーパス連続化事業・・・・・・・・・・・・ 4,744〔土木部〕
創成川通親水緑地整備事業(再掲)・・・・・・・・・・・・ 300〔土木部〕
交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)・・・・ 582〔土木部〕

● 市民自治の実践による雪対策の推進

地域と創る冬みち事業

地域住民・除雪事業者・行政の三者による話し合いにより、地域の実情に応じた除排雪を行い、市民の理解や満足度を高めます。

また、この事業の成果は、次期札幌市雪対策基本計画に反映させます。



● 都心の再生に向け本格的工事を実施

札幌駅前通地下歩行空間整備費 創成川通アンダーパス連続化事業費

札幌駅前通地下歩行空間整備事業では、平成 19 年度に引き続き、通路本体等の工事を行います。

また、創成川通アンダーパス連続化事業は、平成 19 年度に引き続き、トンネル本体工事を行い、平成 20 年度のアンダーパスの供用開始を目指します。

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の削減 56 百万円
- ・施設などの維持管理等の見直し 18 百万円
- ・サービス水準等の見直し 13 百万円
- ・道路占用料等の改定 21 百万円